

ハッチ上院議員等がロシアの WTO 加盟に反対する書簡を提出  
～ 知的財産保護、不公正貿易障壁の改善が必要～

2006年5月12日  
JETRO NY 澤井、中山

ハッチ上院司法委員会知的財産小委員長(R-UT)は、バイ上院議員(D-IN)<sup>1</sup>と連名で、ロシアのWTO加盟に反対する書簡(5月11日付)をブッシュ大統領あてに提出した。WTO加盟への反対理由として、深刻な知的財産侵害と不公正な貿易障壁を挙げており、同委員長は「ロシアがWTOルールに従って行動するまでは米国はロシアのWTO加盟を支持しない」と述べているところ。

また、同書簡では、中国のWTO加盟の経緯にも触れ、米国は中国の加盟に同意する前に、同国における知的財産侵害等の改善に固執すべきであった(should have insisted)と振り返り、今日のロシアは同じ状況下にあると説明している。

ロシアでは、知的財産に関する問題として、特にCD、DVD等の海賊行為による著作権侵害が深刻になっているとされ、先般発表されたUSTRスペシャル 301条レポートにおいても、中国に次いで大きく扱われているところ。<sup>2</sup>

< 5月11日付け書簡 >

<http://hatch.senate.gov/index.cfm?FuseAction=DataPipes.ViewPDF&Id=1572>

< プレスリリース >

[http://hatch.senate.gov/index.cfm?FuseAction=PressReleases.Print&PressRelease\\_id=1572&suppresslayouts=true](http://hatch.senate.gov/index.cfm?FuseAction=PressReleases.Print&PressRelease_id=1572&suppresslayouts=true)

(了)

---

<sup>1</sup> <http://www.senate.gov/~bayh/index1.html>

<sup>2</sup> 4月28日に公表された同レポートにより、ロシアは昨年同様、中国等と同じ「優先監視国」に指定されている。詳細は2006年4月30日付け知財ニュース「USTRが2006年スペシャル301条レポートを公表」を参照。